事例No.	654
公表年度	H29
団体の属性	一般市
団体名	青森県十和田市

事例区分	公営企業

タグ	・市場事業 ・組織改革 ・公共施設活用

事例種類	民営化・民間譲渡

事例内容・タイトル

市場事業の民間譲渡

出典

地方公営企業の抜本的な改革等に係る先進・優良事例集

市場:事例2

○ 事例名等

事例名	市場事業の民間譲渡
団体名	青森県十和田市
事業名(事業区分)	市場事業
法適用区分	非適用

○団体及び事業の概要

行政区域内人口(人)	62,958	行政区域内面積(㎢)	725.65
事業開始年月日	昭和57年4月14日	市場種別	地方卸売市場
敷地面積(㎡)	14,371.69	延床面積(㎡)	3,361.15
年間売上高(百万円)		職員数(人)	

※上記表中の「行政区域内人口」は、平成29年1月1日時点。「行政区域内面積」は、平成28年10月1日時点。それ以外の計数は、H29年3月末時点。

1. 取組の背景、検討を開始した契機・導入過程

(1)取組の背景
　流通形態の多様化や市場経由率の低下、各種規制緩和の進行等に伴い、市場間競争の厳しさが増すなど、地方卸売市場を取り巻く状況に柔軟に対応できる市場運営を行う必要があるため。

(2)検討を開始した契機・導入過程
・平成17年度:十和田市第1次行政改革大綱及び実施計画に基づく取り組み事項とする
・平成19年2月:市場運営審議会において、今後の市場民営化の方向を検討し、妥当性を確認
・平成23年2月:民営化に向けて、関係者と協議を開始
・平成27年3月:十和田市第3次行政改革大綱及び実施計画に基づく具体的な取り組み事項とする
・平成27年4月:民営化について、関係者と合意
・平成27年5月:市場運営審議会において諮問し、民営化が妥当との答申を受理
・平成28年4月1日:民営化開始

2. 取組の具体的内容とねらい、効果

(1)取組の具体的内容とねらい
厳しさを増す市場間競争へ対応し、経営の活性化、迅速化を図るため、次の取組みを実施した。
・開設者の変更
　市場設置当初から卸売業者としての実績があり、また、安定した経営能力により市場間競争への対応が可能な十和田青果株式会社へ変更することで、スムーズに民営化に移行することができ、市の人員配置の適正化を図った。
・固定資産の譲渡
　建物の無償譲渡(必要箇所の修繕実施及び事務所新設への補助金を交付)、土地の有償譲渡を行うことで、将来的な施設の大規模な修繕や建替えに関する経費の削減を図った。

(2)効果
民営化前は、正職員1人、基幹業務職員1人を配置していたが、民営化によりそれぞれ0人となり、年間約340万円の削減となった。また、具体的な金額は算出していないが、老朽化が進んでいる施設の大規模修繕や新規施設の建設に伴う多額の経費が不要となった。

3. 他の自治体の参考となる点、今後の課題等

(1)他の自治体の参考となると考えられる点
十和田市が新事務所建築費補助、既存建物の修繕などを行ったことで、民営化をスムーズに進めることができた。
また、こうした取組の結果、土地の有償譲渡についても価格の交渉がスムーズにいった。

(2)今後の課題等
安定した市場運営が引き続き継続されること。

〇問合せ先

担当課	十和田市政策財政課		
TEL	0176-51-6713	MAIL	seisakuzaisei@city.towada.lg.jp